

○ 東大阪市学校教育基本目標

すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を

○ 東大阪市学校教育重点目標

- 総合的視点に立つ教育の推進
- 人間尊重に徹した人権教育の実践
- 信頼に応える学校園経営
- 学校園・家庭・地域の協働

# 東大阪市教育フォーラムが開催されました！

東大阪市では、家庭、地域、学校園が共に本市の教育を考える場として、教育フォーラムを開催しております。今年度は、平成30年2月3日（土）東大阪市立荒本人権文化センターにて、約400人の保護者・市民・教職員等に参加いただき開催しました。

第一部では、「全国学力・学習状況調査等の結果分析等、事業報告」と「小阪中学校と東大阪市教育センターとの共同研究であるICT学習支援ツール（KWM：Key Words Meeting）を活用した授業実践」について報告を行いました。新学習指導要領で示された「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた評価の可視化と授業改善の方策を研究した2つめの報告は、取組み前後での学びの変容がわかりやすく示されており、参加者からは「発表にあったような授業スタイルを早いうちから導入してほしい」「わが子も記述することが苦手です。日々の授業などから語句の理解、表現力などが向上すればなあ。」などの感想をいただきました。

第二部では、京都産業大学の西川信廣教授を講師にお招きし、「小中一貫教育の取組み」をテーマに、パネルディスカッションと講演を行いました。前半のパネルディスカッションでは、本市立小中学校長や一貫教育担当者から具体的な取組みの工夫や成果と課題についてお話いただくとともに、後半の講演では、講師の西川教授より先進的な実例を交えながら平成31年度以降の展望についてもご教示いただくことで、小中一貫教育の意義について共有することができました。参加者からは「やることが山積みですが、取り組みだしたことはすばらしいことだと思います。」「校区内での団結力や工夫などとても参考になりました。」などの感想やご意見を多数いただきました。東大阪の未来を担う子どもたちに「どのような力」を身につけてほしいのか、そして、そのためにそれぞれの立場でどのような役割があるのかを、共に考え、共有する場となりました。



## 取組みの成果と課題は！？～学力向上支援担当者連絡協議会～

平成30年2月13日（火）荒本人権文化センターにおいて、全小中学校の学力向上支援コーディネーターを対象に、学力向上支援担当者連絡協議会を開催し、今年度の学力向上の取組み成果と課題のまとめを行いました。大阪府教育庁から指定を受けたアクティブ・スクール推進校の取組み実践の紹介や、各校の取組みの経緯や好事例を交換したり、求められる「主体的・対話的で深い学びを実現する授業」、「指導と評価の一体化」を実践するためのキーワードを共有するなど、各校における次年度の学力向上の取組みに向けて、充実した時間となりました。

◆ どのような力の育成が求められているか  
(新学習指導要領より)

授業等で得た「知識・技能」を活用して、未知の状況(習っていない)にも対応できる力が養われているのか、その場面を授業等の中で取り入れることが求められている

授業で習っているケース以外の場面でも、授業で得た「知識・技能」が発揮できているのか、客観的にみとれるように、定期テストなどで取り入れ、評価していくことが求められる

活用問題を取り入れたテストの設計から、  
《逆向き設計の授業づくり》  
《指導と評価の一体化》をはかる

# 平成29年度愛ガード運動推進委員会全体研修会を開催



平成30年2月26日(月)午後7時より総合庁舎18階大会議室において、各小学校の愛ガード運動推進委員会の委員長様、校長先生等合わせて約100名の方々にご出席頂き、全体研修会を開催いたしました。

地域の子どもは  
地域で守る!

研修会のはじめに、寺脇教育監から愛ガード運動の取り組みへのお礼があり、その後、市内3警察署(布施・河内・枚岡)を代表して枚岡警察署生活安全課防犯係長から愛ガード運動のお礼と市内の防犯の状況についての報告がありました。また、スクールガード・リーダーからは、見守り活動の状況についての話がありました。

引き続き研修会では、大阪府警スクールサポーターとして、市内の子どもたちの見守り等を行なっておられる相原様と柘岡様のご講話がありました。専門家の方からのご講話は、交通安全指導の際、事故やトラブルにならないような声のかけ方や、防犯への意識や対応についてあらためて確認する機会となりました。

研修会の最後には、グループに分かれ、これまで効果的だった取り組みや、現在の活動状況についての意見交流を行いました。ある地区では、新規の愛ガード運動協力員を増やすために、「買い物や犬の散歩の通り道を下校時間に少し合わせてもらい、愛ガード運動に参加してもらうよう地域に呼びかけている」といった意見等もあり、今後の各地区での愛ガード運動の活性化に向け参考となる全体研修会となりました。今後とも、愛ガード運動へのご協力をお願いいたします。

## 巡回指導・巡回相談について



やった!  
できた!

平成29年度東大阪市障害児者支援センター(旧療育センター)と協力して下記の事業を行いました。

### 巡回相談

発達障害の診断を受けた子どもが対象の事業です。児童指導員の先生からのアドバイスをもとに、一人ひとりの特性理解や、その特性に応じた指導方法について、学校園の先生方、保護者とともに考え、明日から即実践できるような具体的なアドバイスや、支援の必要な子どもだけでなく、全ての子どもたちにとって、過ごしやすい環境づくりや指示の出し方等についても助言をいただきます。訪問した学校園からは「はなまるやシール使い、本人が目で見えて分かるもので評価し、達成感を感じるように工夫したことで自信を持つようになりました。」という声がありました。

### 巡回指導

肢体不自由のある子どもが学校園での生活を円滑に過ごせるよう、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などの専門家による生活介助、機能訓練面や教育支援での指導助言等を行う事業です。適切なアドバイスをいただくことで、学校園では不安なく、支援を行っていくことができました。助言を参考に支援を続けていくことで「長い時間姿勢を保てるようになった。」「足の可動域が広がった。」「はさみを使って作業ができるようになった。」「トレーニングの仕方を確認できて安心できた。」など、子どもたちが達成感を感じながらの課題克服に取り組んでいました。

子どもたちの障害の状況に応じた支援を充実させるために、今後もこれらの事業を有効活用ください。